

西大和つうしん

2011年 1月号

No.343



曾爾高原(11/28)

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第343号(2011年1月号)

【目次】

山行計画	-----	1
1月度カレンダー	-----	2
自主山行 大峰の山	釈迦ヶ岳(島崎)-----	3
公開山行 奈良の山	春日山原始林(村田)-----	4
自主山行 鈴鹿の山	藤原岳(島崎)-----	5
自主山行 奥多摩	高尾山・御岳山(石田)-----	6
例会山行 室生の山	古光山から曾爾高原(林)-----	7
平日山行 六甲山	六甲山～有馬温泉(平田)-----	8
例会山行 大峰の山	大普賢岳(内田)-----	9
室内例会だより	-----	10

【山行計画】

山行	山名	担当
例会山行1	1月9日(日) 観音峰 【集合】	多賀
例会山行2	1月23日(日) 明神平～明神岳 【集合】	
平日山行	1月25日(火)～26日(水) 烏帽子山～子の泊山 【集合】	三島

1月度 西大和山の会 カレンダー

日	曜	山 行	その他行事
1日	土		
2日	日		
3日	月		
4日	火		
5日	水		
6日	木		
7日	金		
8日	土		
9日	日	例会山行1 観音峰 (担当:多賀)	
10日	月		
11日	火		
12日	水		県理事会
13日	木		
14日	金		
15日	土		
16日	日		
17日	月		
18日	火		
19日	水		会報原稿締切日
20日	木		
21日	金		
22日	土		
23日	日	例会山行2 明神平～明神岳 (担当:)	
24日	月		
25日	火	平日山行 烏帽子山・子の泊山	
26日	水	(担当:三島)	室内例会
27日	木		
28日	金		
29日	土		
30日	日		
31日	月		

【2月度予定】

13(日)	例会山行1 (担当:藤本) 武奈ヶ岳	23(水)	室内例会
20(日)	公開山行 (担当: 林) 三峰山	27(日)	例会山行2 (担当:藤井) 靈仙山

自主山行
大峰の山 **《釈迦岳》**

【日 程】 2010年11月9日(火) 晴れ後曇り、霰

【参加者】 L 島崎・藤井・辻・内田

【コースタイム】 上牧P場(6:30 発)～登山口(8:45/9:00)～千丈平
(10:35)～釈迦岳 1799,6m(11:00)～深仙の宿(11:45/12:20)
～千丈平(12:45)～登山口(14:15)～上牧P場(16:50)

《歩数:16,773》

概略

紅葉街道から登山口までの車窓より見える紅葉の素晴らしい事、登山口には2台停まっていた。稜線上は風が強く、木々はすでに紅葉は終わり、冬枯れの状態であった。木々の葉がないので、大日岳と深仙の宿も見えるし、釈迦岳のお釈迦様も見える。

千丈平では若者が作業をしていた、釈迦岳では寒く、男性3人組みの人に写真を撮ってもらい早々に引き揚げる、深仙の宿で昼食をとる、中は薄暗い、若い男性1人が入ってきた。

大日岳に行く予定であったが、風が強いのと内田さんがしり込みをしている状態なので、中止をし、帰路に着く、今回鹿は一匹を見ることができなかった。

千丈平では十津川の宗教団体の若者が今日から泊まりで用意をしているとの事、帰路はさらに風も強く、おまけに霰も降ってき出して、雲行きも怪しくいつになく速足になってくる、登山口付近では晴れてきだして、全く予想しにくい天気である。

(報告者 島崎 隆)

公開山行
《春日山原始林》

【日 程】 2010年11月21日(日)

【参加者】 CL村田・SL林・藤井・島崎・田中(悦)・田中(初)・辻・藤本
杉村・高橋・内藤・窪田 参加者(会員12名・一般17名)

【コースタイム】 近鉄奈良駅行基像(8:30)～春日大社(8:55)～高円山
登山口(9:55)～火床(10:30)～山頂ピストン～火床(11:10/11:40)
～柳生街道合流(12:50)～首切り地蔵(13:25)～大原橋(14:12)～
若草山(14:50)～入山ゲート(15:20)

行基像の噴水広場をお借りして集合、まずは春日大社をめざす。
大社入り口の大きな鳥居をくぐり、広い参道は人影もまばらでジャリの音
が心地よい。早朝から多くのシカが迎えてくれ、木漏れ日がすがすがしく
美しい。程なく大社、拝観すませ社の森に入り、あらためて全員の挨拶、2
9名をA、Bの2班に。

高円山への道は高畑、白豪寺町と趣のあるアプローチだった。
登山口とするされた案内はうっかりすると見落としそうにひっそりと。
急な山道を30分で大文字の火床に着く。背中を軽くして高円山頂にピス
トン、三角点が設置。火床からのながめはすばらしく、奈良盆地、奈良の都
が一望のもと、紅葉がうつくしい。ゆっくり昼食タイム…のあと、トント
ンと下山して柳生街道に合流…するはずだった。

下見時の道のみうしない、違う谷におりてしまい30分のロスタイム。
つい油断してしまっていた、迷ったら元の場所へ戻る、等反省点多し。

春日と高円の谷を沢沿いに歩く柳生街道(滝坂の道)は歴史のある苔
むした石畳、歳月に風化した穏やかなお顔の多くの石仏を拝すことが出
来る。何度か木橋を渡り、首切り地蔵の休憩地へ。工事中でもありハイキ
ング客があふれていた。早々に退却、春日山石窟仏への階段を過ぎお参
りすれば、ドライブウエと合流。

世界遺産でもある、巨木の多い原始林の紅葉はすばらしく、しばしば息
を呑み足が止まる。未舗装の道は緩やかにアップダウンをしながら、最後
の休憩所へとつながる。

ほどなく若草山の頂、左後方に高円山、足下に奈良の街を眺めながら
下山の途に。申し分のないお天気にめぐまれ、多くの人に参加していただ
いた公開山行でした。
(記:村田)

自主山行
鈴鹿の山 《藤原岳》

【日 程】 2010年11月23日(火) 晴れ風強し

【参加者】 CL 島崎・SL藤井・辻・勝尾

【コースタイム】 上牧P場 6:30 発～藤原西小学校前P場(8:47)～三合目
(9:54)～分岐(8合目)～藤原山荘 11:30-12:03～釈迦岳 1120M
(12:18)～藤原山荘(12:45)～8合目(13:13)～登山口(14:19)～
上牧P場 16:50 歩数:19,374

概略

奈良は曇っていたが、三重県側は晴れている、藤原西小学校前P場に
駐車、境内前はもみじ祭りの用意をしていた。

聖宝寺の境内のもみじが紅葉してきれいである。

裏登山道より登るが、迂回路で少し道草をとってしまった、かなりの急坂
を登る、登る。

晴れているが、風が強い、分岐:8合目より、自然林の中を登る、道はぬ
かるんではないが、石が滑り易い、9合目より、山荘までが長いこと、春
であれば、福寿草を楽しみながら登って行くが、今は何もなく、ただひた
すら登るのみ、藤原山荘に到着、風が強いので、山荘内で昼食、ほぼ満席
状態であったが、丁度交替してくれたので助かった。

木々の葉はすでに落ち、藤原岳の道筋がよく見える、藤原岳ではさら
に風が強く、飛ばされそうだ、遠くに御在所岳・雨乞岳が見える、早々に
下山する。

下りは滑り易いので慎重に下る、8合目より表登山道を下る、石もほと
んど無くて、道はかなり歩き易く、快調に下って行く、4合目で休憩して、
そのまま下ってしまう。

晴れてはいたが、風が強いので休憩もゆっくりできず、急ぎ足での山
行でした。

(報告者 島崎 隆)

自主山行

奥多摩 高尾山・御岳山～日の出山

【日 程】11月27日(土)高尾山／28日(日)御岳山～日の出山

【参加者】石田(28日は他1名)

【コースタイム】

《11/27》高尾山 くもりのちはれ 小仏駐車場(6:40)→小仏峠(7:00)
→小仏城山(7:20)→一丁平→高尾山頂(7:55/8:05)→一丁平
→小仏城山(8:45)→小仏峠(9:00)→駐車場(9:15)

全国登山者自然保護集会(青梅市)が午後からなので、高尾山に登った。夜中の2時過ぎに小仏バス停上、林道終点近くにある駐車場についた。だれもいないと思った林道でいきなり若い男性が一人、懐中電灯も持たないで下山していった。車内で仮眠をとっていたらまだ暗いうち(3時ぐらい)から続々と車やヒトが登ってくる。明るくなるまでと粘るが、ゆっくり寝ていられない。出発した時には、駐車場がほぼ満車であった。寝ぼけ状態で出発したが、杉林の道は快適で程なく小仏峠に、峠は茶店や石碑など昔の甲州街道の賑わいを彷彿とさせる佇まいだ。登山道は、もう下山するヒトや天狗マラソンの練習かトレーニングするヒトなどと結構すれ違う、さすが高尾山(何かの本で読んだが世界の登山人口は700万人、標高599mの高尾山は年間200万人がやってくるとか)。所々トイレや展望台、茶店などもある。山頂周辺の紅葉は見頃、景色もよく、るんるん気分、富士山だけ雲で見えなかった。ロープウェイの方向からわき出すように、後から後からヒトが登ってくる。元来た道を引き返した。こちらからも、行列状態で登山者が登ってきていた。高速道路が高尾山のすぐ近くを通り、さらには圏央道の工事が進められていて騒然としていた。

《11/28》御岳山～日の出山 はれ ロープウェイ御岳山駅(13:15)→御岳山神社(13:40)→日の出山(14:25/35)→ロープウェイ御岳山駅(15:25)

自然保護集会終了後車で15分ほどの所にある御岳山に行くことにした。途中駐車場探しや昼食をして、ロープウェイで標高差400mの御岳山駅へ1時間後に着く。旅館や店の間をぬって御嶽神社へ、茅葺き屋根も諸処にある、都会のラッシュ並にヒトがいる。街からそのまま来た格好のヒト、山登りの姿など様々なスタイル、中でも、若い女性いわゆる山ギャルが多い、中には昔懐かしいブルマー状のものまで闊歩している。神社下の集落を抜けて日の出山に行く。標高929mの御岳山から日の出山までほとんど水平に近い道である。頂上には10人くらいか、さすがにヒトが少ない。遠くに都会の街、奥多摩の集落、山々など頂上の展望はすばらしく富士山も遠慮がちに顔をのぞかせていた。(記：石田)

例会山行
<古光山から曾爾高原>

【日 程】 2010年11月28日(日) 曇り、風強く有り

【参加者】 CL林・SL多賀・都築・田中(悦)・田中(初)・島崎・辻・藤井
村田・杉村・内田・高橋 (12名)

【コースタイム】上牧 P(7:30)～大峠登山口(9:20)～南峰(10:00)～
古光山山頂(10:25)～フタカワ分岐(11:20)～後古光山
(11:50)～林道で昼食(12:15/13:00)～亀山(14:10)～
曾爾高原(14:30)～上牧 P(17:00)

車2台に分乗し、斎場脇の登山口に到着。同じ様に和歌山市内から来た一行4名の後から上り始める。見回すと、紅葉が終わった後で、風が強くと肌寒く感じる。登りははじめから、急斜面に取り付き、張ってあるロープを伝いながら、最初のピーク近くよりは、岩がむき出しで足場の悪い所を乗り越え南峰へ出る。

其処から頂上まではさらに急勾配の岩場をよじ登って、古光山山頂(953m)で記念撮影をする。山頂からは落葉した低い雑木林越しに吉野、大峰の山が見渡せ、下に牧場の屋根と、なだらかな牧草地が広がって気分が和む。

小休止の後、フタカワへの降る道は、登り以上の急勾配で、立ち木や木の根にぶら下がるようにしながら、足場の確保をし、先頭のTさんから、シュリンゲ使い方、張ってあるロープとの確保の仕方を教えてもらい、装備の大切さを痛感する。

フタカワ分岐から、後古光山までの短い登りは、岩がむき出しの急勾配で落石の恐れも十分あるので間隔を取り、何重にも張りめぐらされたロープにつかまりながら、慎重に頂上まで全員無事登りきる。土が粘土質の為、濡れていたら滑って無理と思う。

頂上からは、東前方に倶留尊山と曾爾高原の枯れたススキが原が見え、昼食の時間だが、狭い上に風が強いので、長尾峠近くの林道まで降りて昼食とテイタイムで時間調整をする。

後は、長尾峠まで下り、亀山まで植林帯の中を登り返し山頂で小休止、益々風が強くなって来る中、遊歩道をハイカーとすれ違いながら、お亀池の広場まで降りる。すぐ下のお亀の湯に入り、疲れを癒し上牧 P まで帰り着きました。

今度で二回目ですが、久しぶり(何十年も過ぎてしまったが)に、ガキの頃山で遊びまわった頃の気持ちに戻って呉れた山行でした。(記:林)

平日山行
東六甲山系縦走から六甲山・有馬温泉へ

- 【日 程】 2010年12月8日(水) 晴
【参加者】 L平田・SL勝尾・島崎
【コースタイム】 宝塚(8:45)～塩尾寺(9:30)～大谷乗越(10:45)～
水無山(12:20/13:00)～一軒茶屋(13:30)～六甲山頂
(13:40)～有馬温泉登山口(15:05) 歩行時間6:20

前々日(6.7日)の天気予報で最低気温が5℃と報道され平地で5℃だと山上では0℃に近く寒さの上に登山道が凍結している可能性がある為アイゼンの準備をメールにて連絡する……

当日は天候に恵まれた山行であつた！

宝塚駅から武庫川に架かるS字橋の宝来橋を渡る。真冬であればシベリアからの小白鳥？が舞っているのを見た事があるが今日は皆無である。

甲子園大学迄は町中の上りである、その後六甲全山縦走路(宝塚～須磨浦公園迄48km)でもあり 塩尾寺へのお参り道でもある。塩尾寺で小休止、参拝者が一人居られ写真撮影をお願いする。これからは近畿自然歩道で登りを進む。岩倉山から岩原山への分岐へと進むが平日の為か登山者に会わない。

大谷乗越の手前で初めて年輩の登山者に会った。大谷乗越からはアップダウンの連続で太平山を通過して水無山で昼食とする。日射しがあり、ありがたい、ゆっくり出来て記念撮影する、この東六甲縦走路は登山道は良いが松林の中を歩むコースで景色はよくない。ドライブウェイ迄出ると登山者に会うようになり「どこから、どちらえ」と聞くと有馬から宝塚への事、我々とは逆のコースの人と会うようになり、我々がたどって来たコースを考えるとその方が楽なコースかも知れない。

一軒茶屋付近で小休止後 六甲山頂に向う。頂上では自衛隊車がリーダーのようなものを動かしていた。

山頂でも登山者が3組丈で寂しい、又写真撮影を頼む 小休憩後有馬口迄一気に下った。

有馬温泉では、かんぼの宿の金泉にゆっくり入浴出来さっぱりした気分になってバス乗場へ、温泉街も寂しい。

平日の為バス便が悪く、芦屋回りに乗車し無事帰阪する事が出来た。

(記:平田)

例会山行
大峰の山 **《大普賢岳》**

【日 程】 2010年12月12日(日) 晴れ

【参加者】 CL村田・SL島崎・藤井・多賀・三島・田中(悦)
林・辻・勝尾・内田(参加者10名)

【コースタイム】 上牧駐車場 6:30出発

和佐又ヒュッテ(8:32)→笹の岩屋(9:32)→石の鼻(10:00)→
奥駈出合(11:00)→頂上(11:20-12:15)→笹の岩屋(13:23/13:38)
→和佐又登山口(14:10)→和佐又(14:30)→和佐又ヒュッテ(15:00)

数日前から、かなり、不安を募らせ、臨んだ山行でしたが、和佐又ヒュッテについて、雪のないのに安心して、登って行きました。途中、自然にできたのか、それとも、岩を、くり抜いたのかわからない、～窟という岩屋がいくつもあり、その中の、一番大きな、笹の岩屋で一休み、道も整備されてなかったその昔、どのようにして、修験者たちは、登られたのだらうと思いました。

ここからがいよいよ、岩登りの始まりです。日本岳をすぎ、石の鼻でしばし展望を楽しんだ後、しだいに雪が見え始め、地面が凍っているではありませんか。私は足がすくんで動けなくなりました。アイゼンを付けて歩けるとこではないと思ってたので、アイゼンを付けようとTさんが言われた時も、内心は、ここでリタイアして降りたいと思いました。が、仕方なくアイゼンを付けて恐る恐る歩き始めると、しだい怖さは薄らいで、歩けるようになりました。はしごの連続アイゼンを付けての歩行は、一歩一歩、緊張の連続でした。

頂上についてまもなく、アイゼンなしで登ってこられた、別のグループに会いました。金剛山なら、落ちて死ぬことまではないでしょうが、ここは、滑落は即、死につながります。私たちのパーティーにも2名アイゼンなしの方がおられました。よく怖くなかったなと思いました。。

この日は、雲一つない晴天で、風もなく、本当にラッキーでした。頂上は360度のパノラマ、帰路は、同じ道を慎重に一歩一歩降りました。和佐又山にも登って帰りました。

Fさんは、20年前に来た時は、ここの手すりがないので、ロープをはって登ったとか言われてましたが、大峰の山も世界遺産後は道もずいぶん整備されたのでしょう。これから本格的な、冬山シーズン、作今は温暖化の影響で雪の質も変わってきたとよく聞きます。慎重にならざるをえないと思いました。(記:内田)

室内例会だより

【日 時】2010年11月24日(水) 19:30~20:30 事務所

【出席者】島崎、多賀、三島、田中悦、田中初、辻、林、平田、村田、
藤本、勝尾、杉村、内田、高橋、内藤、藤井(16名)

1、山行報告

10月24日(日) 例会山行 金糞岳~白倉岳 L三島 16名

10月31日(日) 教育山行 屯鶴峰~二上山 L多賀 7名

11月7日(日) 例会山行 木梶山 L田中初 9名

2、山行案内

12月8日(水) 平日山行 六甲山~有馬温泉 L平田

12月12日(日) 例会山行 大峰 大普賢岳 L村田

12月23日(木、祝) 例会山行 堀坂山 L田中悦

3、連絡その他

- ・11月27,28日 近畿ブロック女性交流山行 伯母子岳
勝尾さん参加
- ・セカンドステップテキスト20部購入しました。1部350円
- ・労山会員証発行の件
個人情報保護のため記載する項目を検討する。
- ・水越洋さんが11月末で退会されました。
12月の例会山行2の日時、リーダー、行先を変更しました。
- ・12月26日(日) 室内例会 15:00~17:00
忘年会 17:00より 王寺和民にて行います。

第 343号 (2011年1月号)

西大和つうしん

2010年12月18日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 辻 康司

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003

奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>